

真養だより

題字: 中学部3年 野津 勇樹

「令和7年度 PTA 活動を振り返って」

北海道真駒内養護学校 PTA 会長 朝 倉 渉

令和7年度のPTA活動を終えるにあたり、会員の皆様の温かい御理解と御協力に、心より感謝申し上げます。

私自身、今年度から会長という大役を仰せつかり、歴代会長とPTA、学校が進めてこられたことに敬意を払い、大きく変化をさせずにまずは学ぼうという思いで進んできました。会長となり来校する機会が増えたこと



で、先生方の教育への熱意や、子どもたちの生き生きとした日常を肌で感じる事ができました。

また、全国・全道のPTA大会へ参加し、各地の保護者の皆様の切実な思いや願い、PTA活動への様々な工夫に触れたことは、私にとって何物にも代えがたい財産となりました。

「PTAとして、子どもたちのために何ができるか」を自問自答する中で、今年度は「誰もが参加しやすく、子どもの笑顔につながる活動」を合言葉に掲げました。今年度の主な取り組みとしては、活動の「見える化」として、SNSによる情報発信を始めました。保護者同士の新たなつながりの場となるよう、また、PTAをより身近に感じていただけるよう今後も継続していきたいと考えております。

次に児童生徒の教育活動につながる取り組みです。今年度から、小学部の児童とPTA役員、学年保護者で行った学校花壇づくりや、事務局役員も役割をもって参加した避難訓練など、学習活動とPTAが手を取り合う新しい形に挑戦しました。

共働き世帯の増加などライフスタイルが変化する今、PTAは単なる役割（義務）ではなく、「生活に彩りを添える場」でありたいと考えています。保護者・学校・社会をつなぎ、子どもたちの今と未来を支える持続可能なPTAの在り方を、これからも皆様と共に検討してまいります。

一年間、本当にありがとうございました。

令和7年度 PTA 活動報告

令和7年度の活動について、各コーディネーターからの報告をお伝えします。



「環境活動」

今年度の活動内容は、ガラス拭き・イエローレシートの活動を行いました。
ガラス拭きの1回目は9月12日(金)、2回目は2月13日(金)に実施しました。参加していただいた皆様のご協力のおかげで、スムーズに終わることができました。お忙しい中参加いただきありがとうございました。



平成25年から参加させていただいているイオンのイエローレシートの活動については、ありがたいことにたくさんの商品を購入させていただき、子どもたちのために使われています。今後も引き続き、イエローレシートの活動へのご協力を宜しくお願い致します。

今年度も保護者の皆様には、活動へのご協力ご理解をいただき、ありがとうございました。

(小学部4年P 内藤 愛沙、小学部3年P 東 弥生)



「広報・防災活動」

今年度の広報活動では、みんなの広場と真養だよりを発行しました。みんなの広場では、在校生、新入生、教職員の紹介をさせていただきました。発行にあたり、構成等を担当していただきました先生方に感謝いたします。今後も個人情報に配慮しながら、皆様の思い出に残る広報誌作りができたらと思います。



防災活動では防災食の入れ替えを行いました。防災食の期限管理による入れ替え作業が、よりスムーズになるような方法も考えていこうと思います。

(中学部3年P 竹高 敦子、野津 美紀)

令和7年度「第68回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会 PTA・校長会合同研究大会（大阪大会）」参加報告

令和7年8月20日（水）～21日（木）、大阪・関西万博で賑わう大阪市中、大会テーマ「なにわともあれ 友とつながり 共にいきる 大阪から愛と笑顔かがやく未来へ」のもと開催されました全肢P合同大会（大阪大会）に、朝倉 渉PTA会長（小4）とともに参加してきました。

1日目、大阪に着いて、まずは、道頓堀のグリコ看板の前で記念写真・・・と思いましたが、道頓堀は人・人・人でごった返しており、やっとの思いで写真を撮り、その後、串カツを食べ（早くも食い倒れ）、宿泊するホテルへと向かいました。

2日目、会場となるグランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）にて、総会、開会式、分科会、基調講演に参加。開会式では、全肢P会長（東京都立光明学園PTA会長）有吉万里矢氏からのご挨拶や全肢P連に長年ご尽力いただいた前東京都立光明学園統括校長の田村康二郎氏、石川大会実行委員長（石川県立いしかわ特別支援学校PTA会長）谷畑由佳氏への感謝状の贈与がありました。

分科会では、第1分科会「学校」に参加し、「特色あるPTA活動を進めるための連携のあり方について」、各校の取組についていろいろと情報交換をすることができました。

3日目、会員研修では、武庫川女子大学 教育学部 教授 宇野里砂氏による「子どもの『今』と『その先』のために～見通しを持った支援と連携の工夫」と題したご講演を拝聴しました。小児科医でもある宇野氏からは、ライフステージに応じた支援について、医療・教育・福祉が連携し専門性の違うもの同士が地道に目の前にいる子どもをしっかり見ることが重要であるといった大変示唆に富むお話を伺うことができました。

最後となりますが、今年の全肢P合同大会では、暑い大阪で、全国からの参加者の熱い想いを共有でき、元気と勇気をいただきました。また、北海道からの参加者との親睦も深めることができ、大変有意義な時間を過ごさせていただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

なお、全肢P大阪大会の詳細は、全肢P連（しびれん）ホームページ <https://zsipi.jp/> 大会ダイジェスト（大阪大会）にも掲載されていますので、ご参照下さい。来年の開催地は広島県ですよ～！

（校長 高木 美穂）



大阪と言えばここでしょ！ということでグリコ看板の前で記念写真。拓北養護学校のPTA会長さん、校長先生と一緒にしました。人が多くてビックリ。



会場となったグランキューブ大阪の前で、北海道チームの皆さんと集合写真。北海道からは、9校12名が参加。



基調講演は、文部科学省菅野和彦視学官より「肢体不自由のある子供たちの学びの充実」と題したご講演をいただきました。

「研修活動」

今年度は「ツリーフィールドあいあい」、「O・むすび、O・H・G」、「ラポリア白石北郷」、「緑が丘療育園」の4つの事業所に来校していただき、PTA 進路研修会を行いました。保護者の参加人数は32名で、4グループに分かれて各事業所のお話を聞いたり、質問をしたりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。次年度も皆様のご意見を取り入れながら、研修会を企画していきます。

(高等部2年P 佐々木 久美恵、成田 智子)



<編集後記>

今年度も皆様のご協力のもと、PTA 活動を無事終えることができました。今年度は新しい取り組みも多く、充実したPTA活動でした。今後もより良くする為に尽力していきたいと思しますので、ご協力、ご参加をよろしくお願い致します。「真養だより」発行にあたり、ご協力いただいた職員や保護者の皆様に深く御礼申し上げます。

(中学部2年P中川 亜美、中学部1年P村田 里美)

北海道真駒内養護学校PTA

〒005-0011

北海道札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号

TEL 011-581-1782 (代表)

FAX 011-581-1892

ホームページ <http://www.makomanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp>

